

令和2年市区町村別生命表の公表に当たっての部長コメント案

厚生労働省が公表した令和2年市区町村別生命表によると、本県の市町村別平均寿命は、平成27年公表時から、男性では32市町村、女性では33市町村が延伸しており、県平均では男性が0.6年、女性が0.4年延伸しています。

また、前回からの伸び幅を見ると、伸び幅の大きい順に男性では平川市が1.7年、藤崎町が1.4年、階上町が1.2年、女性では板柳町が1.5年、三戸町が1.2年、蓬田村が1.0年の延伸でした。

このような結果を得られたのは、これまでの県民の皆様の努力や関係者の皆様の御協力によるものと考えています。

一方で、平均寿命が短くなった自治体も一部にはあること、また、全国の下位50市区町村の中に、男性では32市町村、女性では24市町村が含まれているところであり、このことは重く受け止めたいと思います。

なお、今回の公表には含まれていませんが、厚生労働省が算定した本県の令和元年の「健康寿命」は、平成28年の前回調査から男性が0.09歳、女性が0.91歳延伸しています。

県では、「健康寿命」や「平均寿命」の延伸に向けて、健康診断やがん検診の推進、県民の健康意識の向上、生活習慣の改善などの取組を積極的に進めています。

今回公表された市区町村別生命表は、令和2年の国勢調査をもとに厚生労働省が作成したものですが、その後の新型コロナウイルスの感染拡大により、がん検診の受診控えや運動不足の傾向が生じている可能性があり、より一層、健康づくりに向けた様々な取組を行う必要があるものと考えています。

県としては今後も引き続き、市町村をはじめ、企業・団体や関係機関ともしっかりと連携しながら、各種の施策に取り組んでまいります。